

## 議事録（要旨）

会議名	令和7年度 第2回守口市都市公園指定管理者選定委員会
日時	令和7年10月10日（金曜日） 午後2時から午後4時
場所	市役所 市民会議室 105
出席者	下村委員長、片山副委員長、福田委員、上野委員、伊藤委員、長田委員（理事兼都市整備部長）（計6名）
議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者候補団体のプレゼンテーション及びヒアリングについて</li> <li>・指定管理者候補団体の選定にかかる審査について</li> <li>・指定管理者候補団体の選定にかかる答申書について</li> </ul>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回 守口市都市公園指定管理者選定委員会 次第</li> <li>・守口市都市公園指定管理者審査基準・配点表</li> <li>・タイムスケジュール</li> <li>・守口市都市公園指定管理者選定委員会 座席表</li> <li>・応募団体の提案書一式</li> </ul>
議事要旨	
	<b>【案件1】</b> ・指定管理者候補団体のプレゼンテーション及びヒアリングについて
候補団体	候補団体によるプレゼンテーション
	ヒアリング
委員	以下の4点をヒアリング ① 今まで実施してきた、パークコーディネーターの実績について ② もり花協議会の情報発信について ③ 防災面での市民連携について ④ 駐車場の渋滞対策について
候補団体	① 地域の方々に積極的に声をかけ、公園や地域の特性を丁寧に伺いながら取り組んできた。「この公園だからできること」を地域とともに検討し、実績を生み出した。 実績については、地域の花店や住民と協働したコンテナガーデン作りや、「あったらいいなをみんなで作る」プロジェクトから派生したハンドメイド作家や地域のお店などが主体となる「よつばマルシェ」を開催し、住民が自ら公園づくりに関わるきっかけを作った。 さらに「ちょこっとボランティア」として、花の水やりや清掃に自由に参加できる仕組みを整えたことで、子どもや地域住民による日常的な見守りが増えたと感じている。 これらの実績により、公園は単なる利用場所から地域とつながる場へと変わり、来園者の増加や管理の効率化、地域との信頼構築につながっている。今後

	<p>はこれらの取り組みを大宮中央公園や大枝公園にも広げ、地域とともに育てる公園づくりを目指していく。</p> <p>② 年間の定例会や総会など定期行事については、毎年ホームページで報告・告知を更新する。事務局としては各団体へ、花苗の配布、散水設備の設置などの支援を行っており、これらの活動内容も随時ホームページで公表する。</p> <p>③ 現在、よつば未来公園と大枝公園には防災士資格を持つ職員を配置している。資格未取得の職員についても、今後取得を促進する。</p> <p>防災士は地域の防災活動支援や資格案内を行っており、よつば未来公園では地域の方が資格を取得した事例もある。</p> <p>イベント面では、守口市内の現役消防士が結成した「予防団」などと連携し、よつば未来公園では協議会と共催で防災イベントを実施した。今後は大枝公園や大宮中央公園でも同様のイベントを展開していく。</p> <p>④ 大枝公園は現在、特に土日に駐車場が満車となり、前面道路で渋滞が発生している。これまでは繁忙日に応じて警備員を配置してきたが、今後は5年間、原則として繁忙期の土日祝日の休日は警備員を配置して交通誘導を行う計画とし、その費用を今回の提案額に含めている。</p>
委員	<p>以下の3点をヒアリング</p> <p>① トラブルについて、地域との連携も含めた対応について</p> <p>② 地域のコミュニティとの連携について</p> <p>③ NPO バースの全国の実績を関西地区にどのように適応させたか</p>
候補団体	<p>① よつば未来公園では夜間に中学生がたむろし、地域から騒音の苦情が頻繁に寄せられていた。その対策として、勤務時間中はスタッフが積極的に声をかけ、本人たちの通学先が判明したことから、学校へ連絡して状況を共有し、学校側の協力で解決に至った事例がある。ただし、新たなグループが現れることもあり、いたちごっこになっている面は残っている。</p> <p>現在はコミュニティ協議会や少年補導委員と情報を共有し、必要に応じて警察にも相談するなど、関係機関と連携した対応を継続している。</p> <p>② 当初は協議会を新たに立ち上げる予定で各団体に声をかけていたが、地域には既にコミュニティ協議会があり、逆に公園側に参加を呼びかけていただいた。この経緯により、現在の活動が始まった。</p> <p>③ 現在、よつば未来公園の指定管理を3年担当しており、関西での指定管理が初めてであった。東京との違いとしては、夜間における若年層の滞留など課題もありますが、住民同士の距離感が近く温かい関係性があると感じた。その関係性を生かし、パークコーディネーターを中心に住民同士が仕組みを働かせることで、お年寄りが子どもに声をかけるなど自然な見守りが生まれている。</p> <p>市民が協力して設置したコンテナ花壇につても、いたずらが見られない点からも、地域の皆さんの意識やチームワークが育っていると実感している。現在、</p>

	スタッフ全員で地域連携の重要性を共有し、研修や実践を通じてスキルを高めている。
委員	以下の点についてヒアリング ・公園管理の組織連携について
候補団体	大枝公園では、専門業務を委託業者に任せる方法と、我々が直営で管理する方法の2通りがある。植栽管理は主に直営で行っており、事業担当と管理担当は分かれているものの、スケジュール管理や情報共有のために月1回全員参加のミーティングを実施している。また、高木の剪定など専門性の高い作業は造園業者に委託し、作業前に立ち合いで打ち合わせを行ったうえで進めている。 こうした体制により、業務間や担当者間の認識の相違は大きくは生じないと考えている。
委員	以下の点についてヒアリング ・利用促進費と高齢者利用促進について
候補団体	利用促進費は、自主事業の経費とは別に、3つの公園を対象として公園の認知向上・利用促進を目的にイベントの企画・実施や準備物の購入に充てる予算としている。具体例としては、イベント当日の音響などの外注費、イベント用のテーブルやテント等の備品購入費が含まれる。備品は年々整備・拡充し、地域の方により便利に公園を利用していただけよう活用する。
	【案件2】 ・指定管理者候補団体の選定にかかる審査について
	① 意見交換
委員	団体の経営状況にあたる部分はどのような評価になりそうか。
委員	特に問題ない。とても良いわけでもないので、中間点が相場かと考える。
委員	要求水準に基づいた維持管理はどうか。
委員	要求水準に基づいた維持管理であるとか、その辺りについては全て仕様書、満足してるような形だと考える。
	② 選定結果
事務局	集計結果について報告
委員長	一番低い割合はどの項目か。
事務局	施設の維持管理計画で、6割後半。
委員	通常の管理のため、説明がなかったことから点数が低くなったと考えられるが、先日の現地確認の際に、問題ないことは、確認できた。
委員長	候補者として選定してもよろしいか。
(全員)	異議なし
委員長	各委員から、一言講評をいただきます。
委員	プレゼンと資料を拝見し、市民協働の取り組みを大変評価している。パークコーディネーターが地域に入り直接関わる活動はとても良いと感じた。

委員	<p>現地を拝見して、とてもきれいな公園ができており、子どもたちが喜んでいる様子に感動した。夜に若者が集まることはどこの公園でもある課題だが、友達と芝生に寝転んで語り合うなど、良い思い出を作る場にもなっていると聞き、そうした面も大切にする必要があると感じている。</p> <p>大宮中央公園では、近隣の方が自発的に庭や菜園を整えて地域色が出てきた。今後はそうした方々も巻き込みながら、地域と一緒に育てる公園になっていけばと思う。</p>
委員	<p>高齢者への情報周知不足が懸念なので、市民とパークコーディネーターの交流を広げ、全世代に情報が行き渡るように実施していただきたい。</p>
委員	<p>公園資源をより多くの市民に利用していただくために、高齢者を含む幅広い年齢層や多様な層が参加できるよう、従来にとらわれない新しい発想や施策を積極的に取り入れていただきたい。</p>
委員	<p>現場での苦労や向き合い方、具体的な行動を伺い、本当に地に足の着いた提案かを確認できた。明確なコンセプトと運営方針があるので、他の施設管理にも運営行動が定着していくと感じた。</p>
委員長	<p>公園はそれぞれ立地や利用者層、施設状況が異なるため、それぞれに応じた運営が必要だと改めて感じた。その上で、「好き」という共通テーマを基盤にしつつ、個々の公園の特性を生かして全体としての公園行政の方向性を示している点は大変評価できた。</p> <p>また、運営にはパークコーディネーターのようなリーダー的存在や、セミプロ的な人材の関与、人材育成が不可欠であり、本部による研修や現場での実践を通じて組織内の運営力が育っている点も評価できた。</p> <p>団体として事業を行う際も、横の連携を重視し、縦割りにならないよう協議・調整している点は良い取り組みだと感じた。</p> <p>「バッタランド」や竹とんぼ・どんぐりの遊びなどは、素材や環境がなければ継続的に教えることができない。そのため、整備と市民参加や啓発を同時に計画・実施する姿勢は、公園づくりにおいて重要であり、これも高く評価できた。</p>
	<p>【案件３】</p> <p>・指定管理者候補団体の選定にかかる答申書について</p>
事務局	<p>答申書（案）の内容説明</p>
委員長	<p>事務局からの説明に加え、講評については、先ほどの委員間の意見交換を踏まえて委員長が追記し事務局に提出することでよろしいか。</p>
（全員）	<p>異議なし</p>